

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和6年度第1回 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会
開催日時	令和6年8月2日(金) 14時から16時26分
開催場所	寒川町民センター 1階 展示室兼学習室(1)
出席者名、 欠席者名及 び傍聴者数	< 委員 > 内海静花、森一光、中村光良、小倉慶久、千葉広明、關根姿子、 篠田寛、梅村仁、加藤幹広、山元博文、川口有紀子、 布谷佳子、木村章恵 (欠席者) 二見茂、大山貴子 < 事務局 > 野崎企画部長、関根企画政策課長、守屋主査、山下主査、 酒井主任主事、前田主事、佐藤主事 < 事業担当課 > 大平産業振興課長、木内広報戦略課副主幹、鳥海子育て支援課長、 徳江保育幼稚園課長、岡野学び推進課長、 黄木学校教育課長、奥谷教育政策課長、濁川町民安全課長、 芝崎町民協働課長、水越都市計画課長 ※ 傍聴者2名
議 題	(1) 第2期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度実施事業の振り返りについて (2) 寒川町人口ビジョンの改訂について (3) 第3期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について (4) その他
決定事項	議題(1) 第2期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度実施事業の振り返りについて 【事務局から内容説明し、委員から各種意見等あり K P I に対する事業の効果 全事業：有効 内部評価に対する評価 全事業：適当 議題(2) 寒川町人口ビジョンの改訂について 【事務局から内容説明し、了承】

	議題（３）第3期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について 【事務局から内容説明し、了承】		
公開又は 非公開の 別	公開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	○ 開会 1 委員委嘱状交付 2 委員自己紹介 3 議 題 （１）第２期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略令和５年度実施事業の 振り返りについて ＜事務局から資料１、２、３に基づき説明＞ 【梅村委員長】 委員の皆様から、基本目標１につきまして御質問、御意見等ございますか。 なければ、まずは私から質問させていただきます。基本目標１の創業者数について、 どういった方が多いのでしょうか。分かる範囲で主な内容を教えてください。 【産業振興課長】 資料がないため、この場で詳細にお答えできませんが、町や金融機関、商工会、 金融公庫に御相談いただいた実績ということで２５件という表記をさせていただ いております。 創業者については、今年度から力を入れており、今まで創業された方にアンケ ートを送り、回答をいただいた方に対して訪問をさせていただいております。創業さ れた後から、どんな困りごとがあるのか、今後、創業されてから２年、３年と経過 して、町に対しどのような要望があるのか等、聞き取りを始めているところです。 今後も、創業された方のコミュニティなどを作成していけたらと、事務局では考 えております。 【梅村委員長】 資料３の３ページでございますが、企業支援事業について、決算額を見たところ 約７,０００万から約５,３００万になっております。この予算が未達成だった要因 は何かございますか。主な内容で結構です。		

	【産業振興課長】 地域経済コンシェルジュへの謝礼の一部残と、各種補助金について残が出ております。保証料を町のほうで支払いをしており、一度、補正をさせていただきました。企業と今後の状況等を確認しながら補正をしたつもりでしたが、予想と大きくずれてしまったところがあり、残が増えております。 【梅村委員長】 他に何か御意見とか、御質問等ございますか。 【加藤委員】 エコノミックガーデニング等による支援は、創業者の方達にとって、非常に頼りになると思います。K P I の創業者数の目標値 2 4 件に対して、実績値 2 5 件というのは達成ということだと思います。創業者が増えていけば、雇用も増えてくるため、効果的ですが、創業してほしい業種等の考えはございますか。 【産業振興課長】 現段階では創業して欲しい業種はなく、寒川町を選んで創業していただける方という点で、支援をさせていただいております。 【加藤委員】 業種として、製造業の方が増えている印象はあまりありません。人口や雇用を増やす点では、製造業等の業種を増やしていくことはより効果的だと思いますが、いかがでしょうか。 【産業振興課長】 製造業においては、十分な広さの場所を確保する等の課題があり、難しいところもありますが、寒川町の良さや寒川町で創業するメリット等を知っていただくために、コミュニティ等を通して、また、それが外部に情報が伝わり、寒川町を選んでいただけるような仕組みを、現在考えております。 【川口委員】 お店を閉められる方もいらっしゃると思います。廃業者数は把握されてますか。 【産業振興課長】 廃業数については、全てを把握できておりません。ただ、創業してから数年は一
--	--

	一般的に廃業のリスクも高いという傾向があり、フォローアップが大切ということで、今年度から創業者の支援というアンケートを実施し、どういった困り事があるのか等を把握し、町の支援や新しい支援をつくり、支えていければと調査を進めております。 【梅村委員長】 廃業した方の声を聞けないのが、政策的な課題ですね。 【中村委員】 商工会は創業支援や廃業等の窓口になることがある。商工会は、入会した企業と廃業や退会した企業の数毎月把握しており、寒川町の商工会は1,000会員を超え、周囲の地域の中でも多い方である。 しかし、個人店舗や後継者がいなくて廃業することが最近多く、廃業の方が多い状況になっています。このような情報を、町と共有したほうが良いと思いました。 【梅村委員長】 是非町と連携いただけると良いと思います。他になれば、基本目標1の評価に進みたいと思います。 基本目標1について、KPIに対する事業の効果は有効であった。そして、内部評価は適当であるとしてよろしいでしょうか。 （「異議なし」の声あり） 【梅村委員長】 ありがとうございます。続きまして、基本目標2でございます。御意見、御質問等いただきたいと思います。 【布谷委員】 観光推進事業で3点あります。1点目は観光客数をどのように測っていますか。2点目に観光客数の増加要因をどのように考えていますか。3点目に、東京で行ったイベントが好評であったとありましたが、今後、どのようなエリアを狙っていきたいか、方向性があれば教えていただけますでしょうか。 【産業振興課長】 観光客数については、寒川神社や冬のひまわり、また、各種町の事業等を計測しております。主に寒川神社の数字にはなっております。 昨年、テレビ等で寒川神社が取り上げられたことから、参拝者が増えたことが要
--	---

	因と考えております。 昨年は東京のOZに出展しました。令和6年度につきましては、千葉で2日間にわたり観光PRをしていくことを進めております。 【布谷委員】 県内というよりも、県外を対象されていく方向でしょうか。 【産業振興課長】 協議会では県外を主な対象としております。 【梅村委員長】 今の質問に追加の質問です。寒川神社と町の観光事業につきまして、何か協議はされていますでしょうか。 【産業振興課長】 神社では観光客ではなくて、あくまでも参拝客としておりますが、観光協会において、神社を交えた様々なツアー等をやらせていただいておりますことから、一定以上の御協力はいただいております。 【千葉副委員長】 昨年11月、テレビで寒川神社が取り上げられた際、大変多くの方が寒川神社に来られました。その結果、公共交通や道路の渋滞等、町内の交通が麻痺したことがあります。急な観光客の受入れ方や交通整理等を今後検討していけたら良いと思います。 【野崎部長】 確かにテレビの影響が大きく、混雑していたことは伺っている。コロナ禍があけて観光客数が回復している流れの中で、今回多くの方が参拝にいらっしゃったとも捉えています。情報を得てから対策を実施していく中で、どうしても後手に回ってしまうこともあります。課題として認識し、今後対策に努めていきたいと考えています。 【内海委員】 テレビの放送日等をこちらで指定することはできるのでしょうか。 【産業振興課長】 町を通して行っているものではないので、介入はしづらい部分がございます。
--	--

	【梅村委員長】 続きまして、タウンセールス推進事業でございますが、御質問、御意見等ございますか。 例えば、内海さん、今回、公募でお越しいただいておりますが、町のブランドスローガンである「高座」のころ。については、ご存知ですか。 【内海委員】 正直、「高座」のころ。という言葉がふだん耳にすることは、そこまで多くないです。ただ、町のイベントや情報をLINEで目にすることが多く、有効的なツールであると思います。 ちなみに、シェアサイクル利用者の目標値はありますか。 また、シェアサイクルは、町民の声で設置されたのですか。 【産業振興課長】 町民の声ではなく、寒川や藤沢、鎌倉等の市町村と観光協会等が一つになり、湘南地域自転車観光推進協議会という会議体があり、その中で各市町を周遊して観光してほしいとの思いで始まった事業になります。 目標値の具体的な数値は、この場でお答えできませんが、目標については場所等の問題もあり、達成できておりません。 【千葉副委員長】 スルガ銀行と湘南地域自転車観光推進協議会のシェアサイクルとは、また別の組織として存在するのでしょうか。 【産業振興課長】 スルガ銀行様とは連携をさせていただいており、現在のシェアサイクルの仕組みを用いて、観光のPRをしていただいております。インスタグラム等で配信をしていただくための素材等を一緒に作っていただいております、インスタグラムでPRをしていただいているという形になります。 【梅村委員長】 タウンセールスは神奈川県内でも多くの自治体が行っていると思いますが、篠田委員から見て、寒川町の評価はいかがでしょうか。 【篠田委員】 寒川町のPRの中心になるのは圧倒的に寒川神社で、他の良いところの認知に課
--	---

題を感じているのは、おそらく皆さんも同じようなイメージを持っているかと思います。私が所属する湘南センターでは、湘南のフルーツの紹介や商店街の紹介を行っていますので、寒川町の果物や農業等のPR等を一緒にやっていきたいと思っています。

【梅村委員長】

基本目標2について、KPIに対する事業の効果は有効であった。そして、内部評価に対する評価は適当であるとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【梅村委員長】

それでは、続きまして、基本目標3でございます。御意見、御質問等お願いいたします。

【木村委員】

学童保育について改善はされてきていると思いますが、待機児童数が8人というは、評価としては異なると思っております。保育施設に関する定員が決まっているため、フルタイムの方から採用され、パートの方は申し込みを諦める方が多いと考えています。

また、子どもを預けている方も、小学校3年生になったら出なければならないという風潮がありまして、これは本当の待機児童数ではないと思います。

今後、3年生、4年生でも入れるような学童にしていかなければ、保護者が安心して子育てをしながら働けるという環境にはならないと思います。

他に学童保育の施設は寒川町にはほとんどありません。その点が今後、改善していかなければならないこととして考えていただきたいです。

また、婦人科はありますが、産科が寒川にはありません。安心して子育てを進めるには、少し残念に思っています。どうしても、若い方たちが転入してきて、出産等を考えた際に、近隣の茅ヶ崎市等に行かなければなりません。その点を考えていただきたいと思います。

また、魅力的な教育環境推進事業において、全国学力・学習状況調査が先日、新聞にて発表されました。寒川町は国語の学力が34位で下から3番目でした。算数は8位程度でした。その中で、英語を非常に進められており、FLTが各学校に配置されていることは近隣の市町でも事例がないため、英語教育においては非常に有効であると思います。しかし、国語の学力が低い点は、それを考慮して、読書好きの子に育てる等、国語力を育てることも大事だと思いました。

英語好きな子供に育てるのであれば、小学校5・6年生で、もう少し学力をつけ

	る教育内容にしていいただければと感じています。 【学び推進課長】 児童クラブの待機児童数について、私どももこの８人という数字が全てではないと考えております。昨年度から、ニーズ調査を実施しており、児童クラブの支援員や実際に保護者の方からもご指摘いただいたようなお声をいただいております。 小学校３年生になると辞めなきゃいけないことについては、決まりはないです。ただ、要綱や条例で１人当たりの床面積が決められているため、どうしても定員というものがあります。その中で優先順位をつけなければならず、優先順位の高い方から入っていただくことになるため、結果として小学校１・２年生に高い点数がついてしまい、小学校３年生になると入れないという様に、保護者の方が自発的に申し込まないというお話も、私たちのところに入っております。 子どもの数がかなり減っているというお話をいただいておりますが、児童クラブに関しては伸びると思っております。最近、共働きの世帯が非常に増えてきていると感じます。今後も、共働きの世帯数は増え続けると思いますので、共働きになれば、当然子どもを安心して預けられる場所は必要になります。今後、何らかの取り組みを進めていきたいと考えておりますので、この８人という数字が全てではないと、承知しております。 【木村委員】 茅ヶ崎市の香川では、学童を低学年と中学年で建物を分けており、中学年になると、隣の違う学童へ移動するそうです。様々な児童クラブの運営方法があると良いと思います。 【学び推進課長】 児童クラブを建てられる敷地があれば、増やしていきたいですけども、敷地の確保も今後の検討課題になっております。まずは、床面積の確保や有効活用を考えるとところから始めたいと思います。 【木村委員】 生徒の負担も考慮し、できれば学校の近くが良いと思います。 また、学童の事業をされる方も多くないので、事業者が増えるような形を考えていただければと思っております。 【梅村委員長】 産科の問題について、何か対応はされているのでしょうか。
--	--

	【子育て支援課長】 対応については、現在は行っておりません。 寒川町は面積が小さいため、近隣市に通うことはそれ程遠いことではないけれども、木村委員のおっしゃるように、町内に産科があったほうが、より近い場所出産したいという方もいらっしゃると思いますので、産科や小児科が増えてほしいところはあります。しかし、成り手がいないと進められないため、今は難しいと考えております。 【篠田委員】 保育環境充実事業について、資料11ページに課題と今後の取り組みが書いてありますが、課題と今後の取り組みに全く同じことが書いてあります。特にどういったところが課題で、どのように改善していくか教えていただければと思います。 今年の4月からこども家庭センターの開設等、進んでいるところもあるので、現状のことや母子保健コーディネーター3人の維持を図るといったビジョンができているのであれば、現状の認識を教えていただければと思います。 【子育て支援課長】 直接関係していない部分もありますが、KPIが達成できなかった部分について、それぞれ説明させていただきます。 子育て支援センターの利用者数についてですが、新型コロナウイルス感染症の関係で利用制限していたという点で、目標値を下回る形になっております。利用制限を解除した令和6年度に入りましては、その目標値を達成できる程度の水準まで戻ってきておりますので、今年度は達成するような形になるのではないかと考えております。 2番目の満足度については、おおむね100%の回答をいただいておりますが、中には80%の方もあって、100を下回るような形になっております。その満足でない方の意見としては、休日もあると良い、赤ちゃんだけが利用できる時間が長くなったら良いといったものです。 満足度の取り方としては、感覚的に受けやすいところがあります。この改善として、今年度、100でない場合、100になるには何をしたら良いかという設問項目を作りました。その意見を拾い、より良い支援につなげていきたいと考えております。 【保育幼稚園課長】 保育園の待機児童数についてです。令和5年度の待機児童数は2人の結果となりました。前年度7人に比べると、5人減となっております。それは、小規模保育事業が1件開設したことによって、5人まで減ってはおりますが、目標値の0にはな
--	--

	っていない状況です。 令和7年に1園、認定こども園が開所予定となっており、そこで待機児童解消を調整はしておりますが、どこの園も課題として掲げているのは、保育士不足となっております。全国的な課題ですが、その点をまず解消しないことには、ハード面としての枠があっても待機児童解消には繋がらないため、今後こちらを課題として、努めていきたいと考えております。 【学び推進課長】 児童クラブについて待機児童が出てしまっていることについては、定員を増やせるような取り組みとして、令和6年7月に寒川小学校区で定員を増やし、この7月には、一之宮小学校区の定員を増やすということで、1つ教室数を増やしております。 その結果として、昨年度の3月の段階で定員が292名でしたが、この令和6年の4月においては、定員が332名、そして、現在においては、定員が350名ということで、拡大はしております。しかし、先程も少しお話ししたとおり、本当は子どもを預けて働きたいけれども、定員に達しているから働けないという保護者の方も多くいらっしゃいます。入れるということが分かると働こうと考える方も当然いらっしゃるため定員が増えます。そうすると、たくさんの方からお申込みをいただくため、今度もまた待機が出てしまうということになり、完全な改善には現在、至っていない状況です。 【学校教育課長】 魅力的な教育環境推進事業においては、資料13ページにもあるとおり、グローバル教育推進事業、教職員の資質向上事業の取り組みに通じてということで進めております。 教育委員会として、将来の社会像を見据えた中で、既にICT、AI、そしてグローバル化により、国境がほとんどないような世界観ができております。 社会では、Society 5.0の時代と言われていますが、そのような時代に生き抜ける力を持ったお子さんや成人を育みたいという思いで、焦点を当てて取り組んでいます。 国語の話がございましたが、特に読書を焦点にお話しいただいたかと思います。昨年度の全国学力・学習状況調査の寒川町の分析を行っておりますが、その際に寒川町の負の面の特徴として、全国平均よりかなり落ちている部分では、家庭でのスマートフォンを中心としたICT機器の使い方において、学習以外で使う割合が非常に全国的にも高いです。 具体的にはゲームや動画サイトを見る時間が長いという分析結果が出ていることから、活字離れがかなり進行していると思います。
--	---

	他方、学校現場でも、朝読書の時間や、国語科の一部として、図書の時間等を確保しながら、本に慣れ親しむような活動も行っております。しかし、学校外の活字離れが、我々も委員と同様に危機感を感じているところです。 以上の背景より、町の総合計画の第2次実施計画が来年度から始まりますが、読書に関して充実が図れるような取り組みを、現在検討しております。 他方、全国学力・学習状況調査の結果については、プラスマイナス5%の範囲内は、有意差がないというものがあります。1問間違えただけで、約10%弱、数値が変わってしまいます。1問にも満たない差ということで、プラスマイナス約5%は有意差がないということになります。 昨年度、小学校と中学校の国語はともに有意差はない範囲でございます。ただ、県内における順位づけという点ではご指摘のとおりですが、全国平均とほぼ変わらないという結果が出ております。 英語については、アメリカの国務省の附属機関であるF S I という機関があり、日本語という言語分類に関して、英語を習得するのに必要な学習時間が研究論文で出されています。それは、約2,200時間必要とされています。 現在、小・中・高で英語の学習において、学校で行われているのが約1,050時間とすると、約1,000時間足りません。この1,000時間を埋めていくための取り組みとして、TOKYO GLOBAL GATEWAY への無料公募バスツアーの開催や町主催の英語学習講座、F L Tを講師として開催する様々な講座があります。これらのような学校外の学習時間も非常に大事だと思っています。 また、子供たちの自学自習の時間も非常に大事なことであり、子どもの意欲の部分である英語の勉強が好きだという割合は、非常に大事な数値と思っております。実は学力という定義の中でも、知識、技能、そして思考力、判断力、表現力、最後に学びに向かう姿勢、力というものがあります。 この学びに向かう姿勢、力が学ぶ意欲です。これも学力の1つであり、非常に重要なものであることから、これを指標にも加えております。英語の点数の上昇等に注力すると、逆に英語嫌いが増えるという反動もあります。 指標である「英語の勉強が好きな子どもの割合」は54%から始まり、現在68%と14%上がりましたが、各年度4%上げていく攻めの姿勢でこの指標を設定させていただいております。目標の達成ができているため、今後もF L Tの起用を中心に、子供たちが将来の社会で生き抜ける力を育んでいきたいと思っております。 また、その一部として、読書、活字離れ、国語力については、第2次寒川町総合計画でも取り組んでいきたいと思っております。 【内海委員】 英語のバスツアーはすごく気に入っています。もう少し子供が大きくなったら申し込みたいなと思っておりますが、英語がそもそも話せないといけないなどの条件が
--	---

	あると思います。たしか、ある程度の能力がないと、参加ができないという内容を拝見した記憶があります。 例えば小学校の１・２・３年生でも、全然しゃべれなくても、取りあえず英語に触れて楽しい時間が過ごせるイベントがあると嬉しいと思いました。 【学校教育課長】 TOKYO GLOBAL GATEWAY では、外国人講師がいらっしゃいます。私共の周知不足もごさいますが、レベル別に応じて、プログラムをやっていただけるという取り組みがありますので、ぜひとも挑戦してみてください。少人数に１人英語教師がつきますので、サポーターは充実していると思います。 また、寒川イングリッシュキャンプというのを夏休みにやっています。それは小学校１・２年のグループから始まっております、１・２年のグループ、３・４年のグループ、５・６年のグループ、そして中学生以上のグループ、成人もありまして、そういった講座が幾つもありますので、ぜひお申し込みいただければと思います。数年やっておりますが、リピーターの子供が非常に多くなっております。新たなプログラム、次にまた違うプログラムをどんどん用意しながら、FLTも工夫しながら準備しております。８月には、英語でクッキングがありますので、ぜひお申し込みいただければと思います。 我々も周知を工夫しているのですが、課題に感じております。良い方法はないかと、試行錯誤しておりますが、良いアイデア等がありましたら、御教示いただければ幸いです。 【梅村委員長】 基本目標３の評価について、KPIに対する事業の効果は有効であった。内部評価に対する評価は適当であるとして、よろしいでしょうか。 （「異議なし」の声あり） 【梅村委員長】 続きまして、基本目標４でございます。皆様方の御意見をいただけたら幸いです。 【小倉委員】 KPIの達成はわかりますが、件数が増加してきています。 コロナの影響かなと、単純には思いますが、どのように分析をされていますか。例えば街灯を付ける場所だとか、この結果との関係について、考えがあれば教えてください。
--	--

	【町民安全課長】 委員御指摘のとおり、令和3年から4年、5年と推移している中で、1回減っていたり増えていたりといった部分で、コロナの影響等々もあろうかと思います。 分析としては、やはりコロナの影響で、人が動く、動かないで、刑法犯というのは推移してきたのかなと分析しております。コロナ禍前程度には行動力が出てきたなかで、刑法犯については、寒川町は特に自転車を盗む犯罪が多いという分析はしております。 取り組みとして、JRの3駅の自転車駐車場に防犯カメラを設置し、防犯対策を努めているところです。 また、警察の捜査で、そのカメラの分析依頼と見せてほしいという捜査願いが結構多いのが実情でございます。皆さん、御存知のとおり、犯罪を平気でしている映像をテレビでよく目にするかと思います。カメラがあっても平気で犯罪をするような時代になってきていますので、犯罪が起こりにくいまちづくりに課題を感じております。 【梅村委員長】 快適なまちづくり推進事業について、コミュニティーバスの利用者が増加しております。SNSやグーグルマップの取り組みをされています。スマホを使った世代に対応しているように見られますが、乗っている方のほとんどは高齢者であるイメージがあります。高齢者の利用者数が増加しているものだと思いますが、その要因は口コミなのでしょうか。 【都市計画課長】 定期的な調査結果によると、おおよそ半数が高齢の方となっております。高齢の方でも、スマホを使いこなしていच्छるようですが、伸びている原因の分析にまでは至っておりません。 こちらとしては、コミュニティーバスの定着が進んでいて、固定利用者層から新規の方まで広がっているかなと考えております。ここであげているデジタルな取り組みは直近取り組みとして挙げておりますが、地道な周知を図ってまいります。 ただ、課題として運転手不足がございます。今後バスの定着が進む中で、路線の維持が課題となってまいります。 【関根委員】 この中には農業の事業はありませんが、先ほど寒川神社の観光客が増えたという話を伺って、寒川神社周辺の観光客が他にいけないところは少ないと感じますが、わいわい市寒川店やさむかわ中央公園もあります。このエリアを寒川の魅力の拠点として、花のまちの寒川を基軸として、地元の農業をPRしていただいて、四季に合
--	---

	わせたイベントを官民一体ですすめ、寒川町の商品も販売できれば、寒川町の観光PRにもなるのではと考えております。 また、町内の遊休農地があるので、それをJAと町で協力して、農業の従事者や定年退職者、また、Uターン自営就農者の方の育成を町としても図っていただければなと思います。 【山元委員】 防犯灯及び防犯カメラの設置基準を教えてくださいませんか。 【町民安全課】 防犯灯については、設置基準の要綱がございます。その要綱に則し、電話柱も含めた電柱のあるところに設置するのが基本です。 また、私道につきましては、基本付けません。管理者で管理していただきます。基本、町道に電柱があつて危険と思われる箇所を、自治会長が集まる会議にて、お伺いし、各自治会から上がってくる要望に対して、設置しております。 また、最近、自治会に加入していない方もいらっしゃいますので、そういったお声もお聞きしながら、優先度の高いところから設置しております。 防犯カメラにつきましては、町中どこまで付ければ良いのかという課題は当然ございます。基本的には、施設管理者が防犯カメラ等を付けるのが基本となっていると考えております。例えばコンビニエンスストアにも防犯カメラはついていますし、例えば警察では信号機にカメラが付いています。 防犯カメラがあつて抑止力になっていた時代から、先ほども申しましたとおり、カメラがあつても平気で犯罪を起こしてしまう時代になっていますので、一定の効果はあつても、犯罪がゼロにならないのが実情です。 【梅村委員長】 基本目標4のKPIに対する事業の効果としては有効であった。内部評価に対する評価は、適当であるとしてよろしいでしょうか。 （「異議なし」の声あり） 【梅村委員長】 それでは、議題1で審議させていただきました評価としましては、全ての事業について、KPIに対する事業の効果は有効であった。内部評価に対する評価は適当であるといえます。 他になければ次の議題に進みます。
--	--

	(2) 寒川町人口ビジョンの 改訂 について ＜事務局から資料４、５、６に基づき説明＞ 【梅村委員長】 御意見、御質問等ございますでしょうか。 【森委員】 人口ビジョンの目標人口は、面積等を踏まえて一番適している人口ということでしょうか。 【山下主査】 まず、これまでの転入者と転出者の社会増がどうなっているか、また、出生率がどうなっているかなどの人口トレンドを踏まえて、これから先の人口の予想を推計として出しているのが将来人口推計です。 将来人口推計ですと高齢化率が高まり、寒川町が維持ができません。それをどこまで生産年齢人口や年少人口を増やせば、この町が将来にわたって持続可能なまちになるかというのを目標人口推計として算出しています。 これが、最低限の目標と考えております。この目標を達成できるように、町と地域の方々が協力して進めていければと考えています。 【森委員】 １９６０年から７０年代の段階で、いわゆる工場誘致を寒川町で行い、町の財政的な部分の底上げをしていこうという方針で進めてこられたと認識しています。 その中で少子高齢化が進み、より一層、町の財源確保というのも含めて、どうしたら良いかという部分を追求していくことは大事だと思います。 全国的にそうですが、少子高齢化が進んでいます。これはいち市町村の取り組みではなく、国の政策自体に関わるものであるのかなと思います。 【企画政策課長】 高齢化率が高まってくると、それだけ、財源となる税収確保も難しくなってきます。それに加え、少子化により、これから働き手になる生産年齢人口も先細ってきている点では、いかに税収を確保して、全体の町民に対して還元できるような政策を打てるかを考えますと、今回お示ししている目標人口獲得が必要になってくると思います。 【森委員】
--	---

	私は逆の考え方で、例えば3万5,000人まで減少するのであれば、そこを基準としたまちづくりを考えるべきかなと思います。ただ、財政的には厳しい部分もあります。 自治会の立場からいくと新しい住民の方々が入ってきて、最近は自治会加入率も低迷しておりますが、顔が知れた地域の人たちがまちづくりをしていくことが良いのかなと思っています。 人口減少は受け入れて、1960年代、70年代のような企業誘致による財源確保等の人口以外の政策を推し進めていくことも必要と思います。 【梅村委員長】 寒川町は今も地方交付税の不交付団体です。評価的には全国的にはすばらしいと評価されている自治体です。国にも認められているということです。ほかの自治体に比べると恵まれている地域だとは思いますが。 もう一つは、人口推計が示す3万5,000人に向かった各種計画になっていくはずですので、レベル感はある一定のラインで統一されると思います。 また、子供に対する投資についてです。関西は特にすごくて、大阪では塾代補助もあります。兵庫県立大学では全部無償化して、他の大学でもそのような動きが出てきています。 教育に多額の投資をして、財政面が本当にもつのかと話題になっています。 ただ、そうしないと、地域の人口増や維持を目指している中で、そうしないと、人の取り合いになってしまっている今の地方創生の現状では、厳しいところもあります。 議会等々でも議論されていくと思いますが、大事なことは、今おっしゃったように、こういった場でも町民の声で危惧があることは伝えていくべきだと、私は思います。 他に意見がなければ次の議題に進みます。 (3) 第3期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について ＜事務局から資料7に基づき説明＞ 【梅村委員長】 結婚・出産・子育てにおいて、結婚は取り組みとして実施してもよろしいのでしょうか。個人の価値観に委ねるものでもあり、行政として介入しづらいものもあるかと思っています。
--	---

	【企画政策課長】 多様な形態があり、結婚にこだわらない意見は当然あると思います。 一方で、先ほども申し上げました合計特殊出生率が年々下がっており、その要素を分解し分析しますと、有配偶者の出生率は大きく減少しておらず、未婚率の上昇が出生率の低下につながっていると考察しております。 少子化対策の一環として、結婚を希望する方へは、行政として出会いの場を創出してあげるのも1つの考えとしてはあるところでございます。 【千葉委員】 本日の会議全体を踏まえての意見となりますが、待機児童について、共働きをする、働きたいから子ども預けるといった話がありましたが、そもそもなぜ働かなければいけないのかといったところも考えるべき視点かと思います。 夫婦で働かないといけない経済状況に地域がなっているのではないのでしょうか。所得が少ないから、2人で働き、子ども預けられずという循環が生じていると思います。 様々な課題がある中で、どこかで負のサイクルがあったり、また、良いサイクルもあったりします。 ぜひとも、今回新しく次の計画を策定していく中で、そのサイクルはどこかしらにあると思います。この会議体は様々な団体から選出されて委員で構成されていますので、様々な角度から情報を集めて、連動するところを見つけて、そこを断ち切れれば、もしくはつなげれば、良いまちづくりになると思います。 アンテナ高く張っていければと思っています。 【木村委員】 女性は、経済的な面じゃなくて、自分のスキルを生かしたいという人が多いです。経済的な面ではなくて、自分の生きがいやスキルという点で共働きが多くなっています。 私の感覚として、女性は割と寒川に戻ってくる人が多いです。自分の両親の近くに住んで、子育てを手伝ってもらっているという方は非常に寒川は多いです。 なので、そういう環境をもう一つ視野に入れながら、そのように子ども達が戻ってきてやすいような環境、住みやすい環境があると、一緒に住んでいなくても、近くにいる状況もあると思います。 【梅村委員長】 ありがとうございました。他になれば、次の議題に進みます。 (4) その他
--	--

	＜次回の会議の内容を事務局より説明＞ ○閉会 【梅村委員長】 本日はお忙しい中、お集りいただきましてありがとうございました。本日はこれにて閉会いたします。	
資料	令和6年度第1回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会次第 資料1 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要 資料2 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業令和5年度取り組み実績一覧 資料3 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略取り組み状況点検シート 令和5年度の取り組み 資料4 将来人口推計及び目標人口推計について 資料5 寒川町人口ビジョン（素案）令和6年改訂 資料6 寒川町人口ビジョン（素案）及び寒川町総合計画2040基本構想等（素案） パブリックコメント概要版 資料7 第3期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針について 参考資料1 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会設置要綱 参考資料2 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会委員名簿	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	梅村 仁（令和6年10月4日確定）	